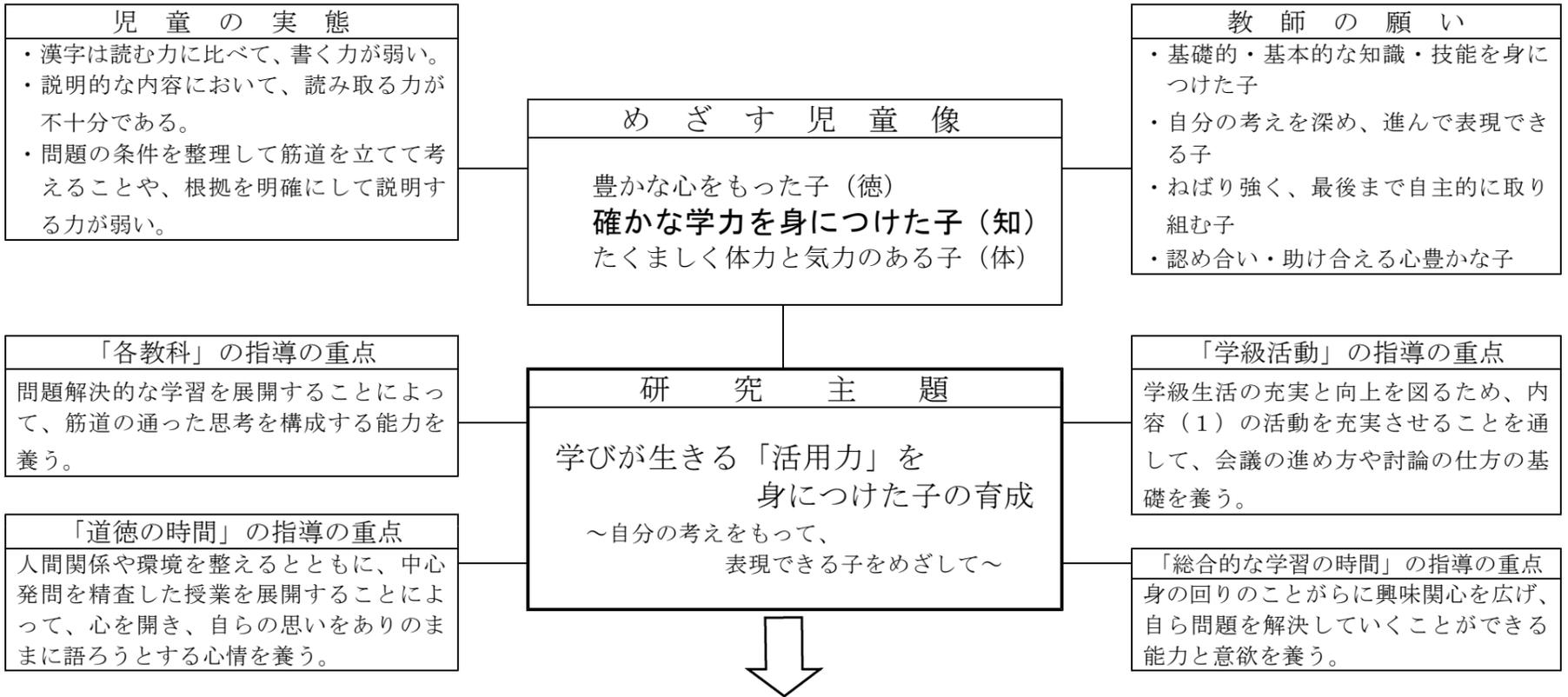


「活用力」向上研究の全体構想図



「活用力」向上に向けた視点		
基礎的・基本的な知識・技能の 確実な定着	思考力・判断力・表現力の育成・向上	家庭における学習習慣・ 生活習慣の改善
①基礎基本の徹底 ・全校基礎力アップ週間（仮称）を設け、漢字力や計算力を向上させる。 ②個に応じた学習指導の工夫改善 ・児童の実態に応じて、重点的な指導や補足的な学習、発展的な学習を実施する。	①思考力の育成 ・授業の中で「考える段階」に時間的な余裕を持たせ、自らの思いや考えをしっかりと書くことができるようにする。 ・文章題の意味を図・数直線などを用いて、考えを書くことができるようにする。 ②判断力の育成 ・文章の構成を読み解き、自らの思いを組み立てる力を系統的に高めていく。 ・問題の解決に使えるような既習の内容や方法、考え方などを選択できるようにする。 ③表現力の育成 ・学級・学年・全校それぞれの場で発表する機会を多く設定し、わかりやすい表現ができるようにする。 ・算数的活動を取り入れながら、自分の考えをわかりやすく話したり書いたりすることができるようにする。	①学習習慣の改善 ・音読カードや計算カードなどの取組を進めるなどして、「学年×10分」をめどに家庭学習の習慣づけを行う。 ②生活習慣の改善 ・生活リズムの改善を進めるため、「早寝・早起き・朝ごはん」を奨励する。

研究実践の場		
低学年部	中学年部	高学年部
自分の考えを順序よく、わかるように表現できる子 〈国語科〉 ・「だれに」「何を」伝えたいのかという、相手を意識した話し方ができるようにする。 ・挿絵などの視覚に訴えるものを有効に活用したり、日記や作文では、順序を表す言葉を使いながら「はじめ・中・終わり」がわかるような文章を書かせる。 〈算数科〉 ・具体物、半具体物を操作しながら、自分の考えを持てるようにする。 ・図や絵をかくなどして、文章から問題場面の構造や数量の関係をとらえさせる。	自分の考えを他と比べながら表現できる子 〈国語科〉 ・自分の考えや思いを叙述をもとにしてはつきりと持つことができるようにする。 ・話の中心に気をつけて聞いたり、自分と友だちや友だち同士の考えを比べながら話すことができるようにする。 〈算数科〉 ・絵や図・式などを使いながら自分の考えを持たせ、「深める段階」で自分の考えと同じところや違うところを説明できるようにする。 ・学習日記に友だちの考えを入れて書かせることにより、課題解決力を高めていく。	自分の考えや意図を明確に表現できる子 〈国語科〉 ・筆者の考えをとらえ、それについて自分はどう考えるかを意識しながら読んでいくことができるようにする。 ・文章全体の組み立て方を考えさせ、自分の考えを明確に表現できるようにする。 〈算数科〉 ・既習事項を生かし、必要に応じて図や式を適切に使い、筋道を立てて自分の考えをはつきりと説明できるようにする。 ・学習したことを具体的な場面で生かすことにより、より理解を深めていくことができるようにする。

実践を支える学級経営		
【基本的な生活習慣】 『人間関係づくりの基本を育てる』 ・言葉づかい ・あいさつ ・学習用具の準備・整頓の習慣化 ・家庭との連携	【学習規律の定着】 『話す力・聞く力を育てる』 ・発達段階を考慮した学びのルールの提示（話す・聞く・書くなど）	【教室環境の充実】 『友だちのよさを知り、互いを認め合う心を育む』 ・学習の歩みやまとめなどの効果的な学習掲示 ・学級の一員として自覚し、活動意欲を高める係活動 ・互いのよさを認め合う人間関係づくり